

ライフラリー & すくさぽ

Lチーム政策案

GEIL



- 個人の責任に帰することのできない要因により教育機会に格差が生じている状態
 - 個人の責任に帰することのできない要因: 社会経済的地位/SES、ジェンダー、障がいの有無、人種/民族など
 - 教育機会: 個人が知識やスキルを習得し能力を開拓する機会。例えば大学や専門学校で学ぶ機会など。

社会経済的地位による教育格差



- SES間の教育格差は人種や民族、社会的養護、不登校などの問題とも密接に関連している
- SES間の教育格差の是正は社会に大きな利益をもたらす（右図）

図表 45 社会的損失の推計結果の概要

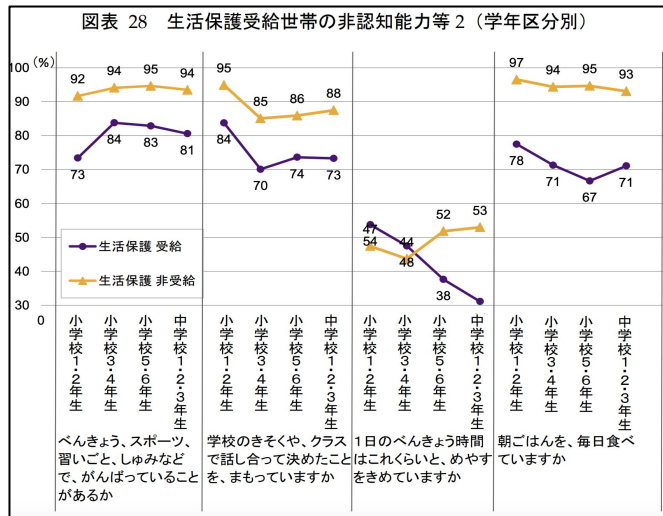
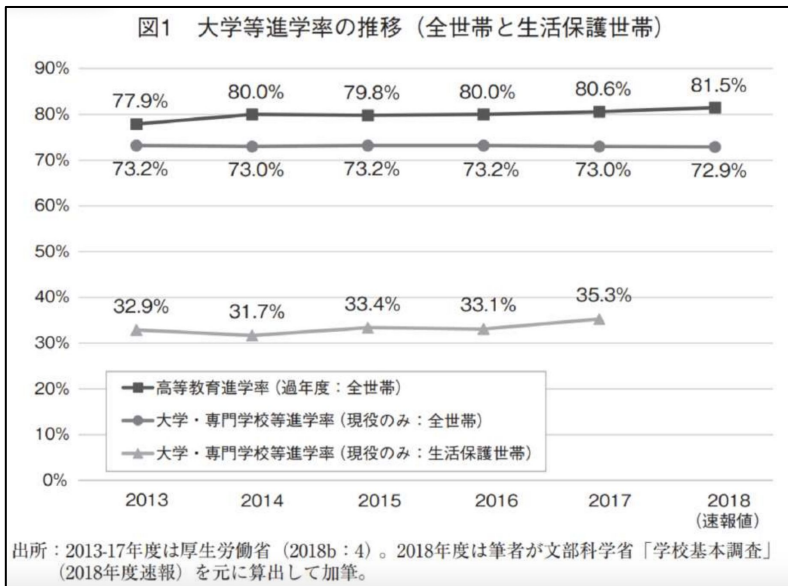
	所得	税・社会保障の純負担
現状シナリオ	22.6兆円	5.7兆円
改善シナリオ	25.5兆円	6.8兆円
差分	-2.9兆円	-1.1兆円

問題意識



社会経済的地位 (SES) による教育格差

- 認知能力・非認知能力の遅れ
- 大学進学率に大きな格差が存在



1. 入学時点で存在する学力差

表 3-6 小学校入学時点の高学力層の割合 (%)

親大卒者数	読み書き	算数
0	34	33
1	40	37
2	49	42



社会的相続:「自立する力」の伝達行為

- 社会的相続は子どもの認知能力・非認知能力の育成において重要

しかし...

低SES層の子どもは

- ・放課後一人でいることが多い
- ・親の勤務時間の長さ
- ・習い事の有無
- ・社会参画への意識の低さ
- ・親自身も生活習慣が乱れ、子どもへの関心が低い



社会的相続が困難に



**SESにかかわらず教育機会が実質的に平等に
担保された状態**



乳幼児期・幼
少期の子ども

認知能力・非
認知能力

孤立の解消



ライフライリー

プロジェクト



現行政策

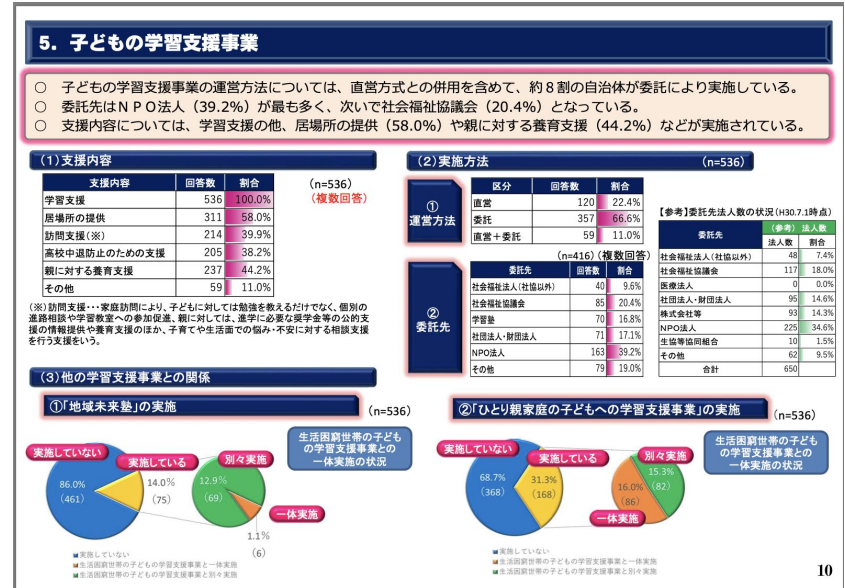


認知能力・非認知能力の育成

- 地域未来塾
- 放課後子ども教室
- 外部人材を活用した教育支援活動など

課題

- 実施率の低さ
- 非認知能力へのアプローチ
- 日数が少ない
- 乳幼児期・幼少期の子どもへのアプローチ



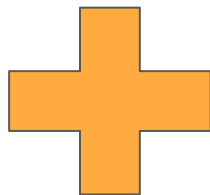


図書館の役割を拡大する



＜従来のサービス内容＞

- ・貸し出しサービス
- ・レファレンスサービス
- ・読み聞かせ
- ・講座・展示会
- ・託児サービス
- ・地域情報発信
- ・ボランティア活動の促進



- 学習支援
- 社会的相続の補完
- 親へのサポートの場



なぜ図書館？

75.8%
利用経験あり

88%
場所を認知

※対して公民館の
認知度は39.8%

- 認知度・利用率の高さ
- 読書活動の推進や読み聞かせのサービスに関するノウハウの蓄積
- 幅広い年齢層が利用、多様な人々との交流の場
- 子どもが本に触れる機会を促進
 - 家庭の文化資本格差の問題の解消に一定程度貢献
- 情報化により図書館のニーズ低下 → 新たな図書館への転換



政策案① ライブラリー居場所事業



認知能力・非認知能力の育成



相談対応



地域イベント開催の推進



政策案① ライブラリー居場所事業



認知能力・非認知能力の育成(7歳～9歳)

対象:

主に生活困窮層の小学校1年～3年(左以外の児童も対応可)

利用料:

応能負担(生活保護、就学援助認定世帯の子どもは無償)

利用日:

子どもと保護者と相談した上で決定

<主なプログラム>

- 読み聞かせ・読書の時間
 - 図書館ボランティアの参加
- 学習支援
 - 宿題支援
 - 予習・復習のお手伝い
→ 学習習慣の定着
- 生活習慣、その他非認知能力の育成
 - 夕食の提供
 - 他者とのコミュニケーション(同世代・子ども一大人)



政策案① 基本情報



場所

- 図書館内、もしくは図書館に併設されたスペース

時間

- 平日 13:00～21:00
- 土日・祝日 8:30～21:00

職員

- 参入団体、行政職員、ボランティア

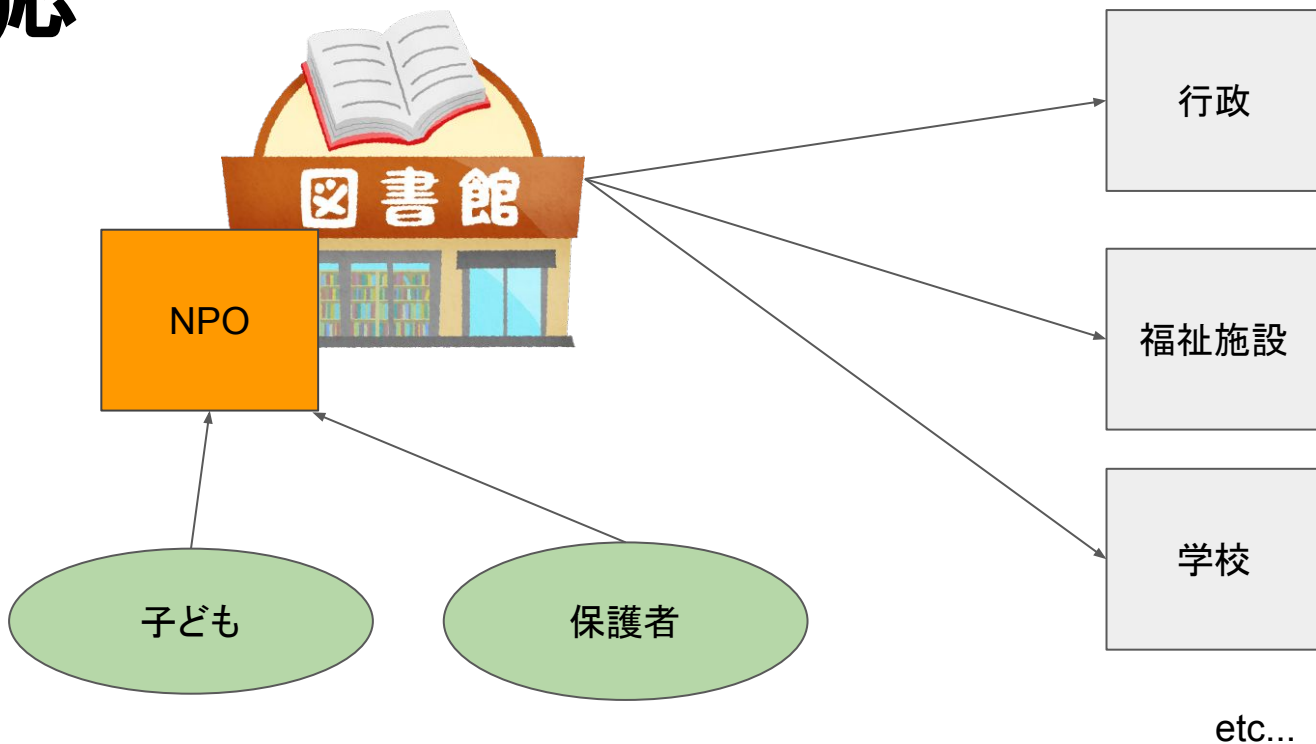
実施主体

- 地方自治体
- 現場での活動はNPOや社会福祉協議会、企業など民間に委託

政策案① ライブラリー居場所事業



相談対応



政策案① ライブラリー居場所事業



地域イベント開催の推進

＜従来の地域活動状況＞

- ・各図書館がバラバラに行う
- ・図書館の負担が大きい



図書館同士のネットワーク強化

地域団体の参入

子どもが主体的に企画・参加

目的:子どもたちが地域社会に接する機会を会得する

開催イベント例

ぬいぐるみ図書館おとまり会(西宮市立鳴尾図書館)
トライやるウィーク(兵庫県実施の職業体験事業)
子ども読書感想文コンクール(尾鷲市立図書館)
不思議の国のアリス×鈴鹿市立図書館(鈴鹿市立図書館)

研究機関

企業

学校

NPO

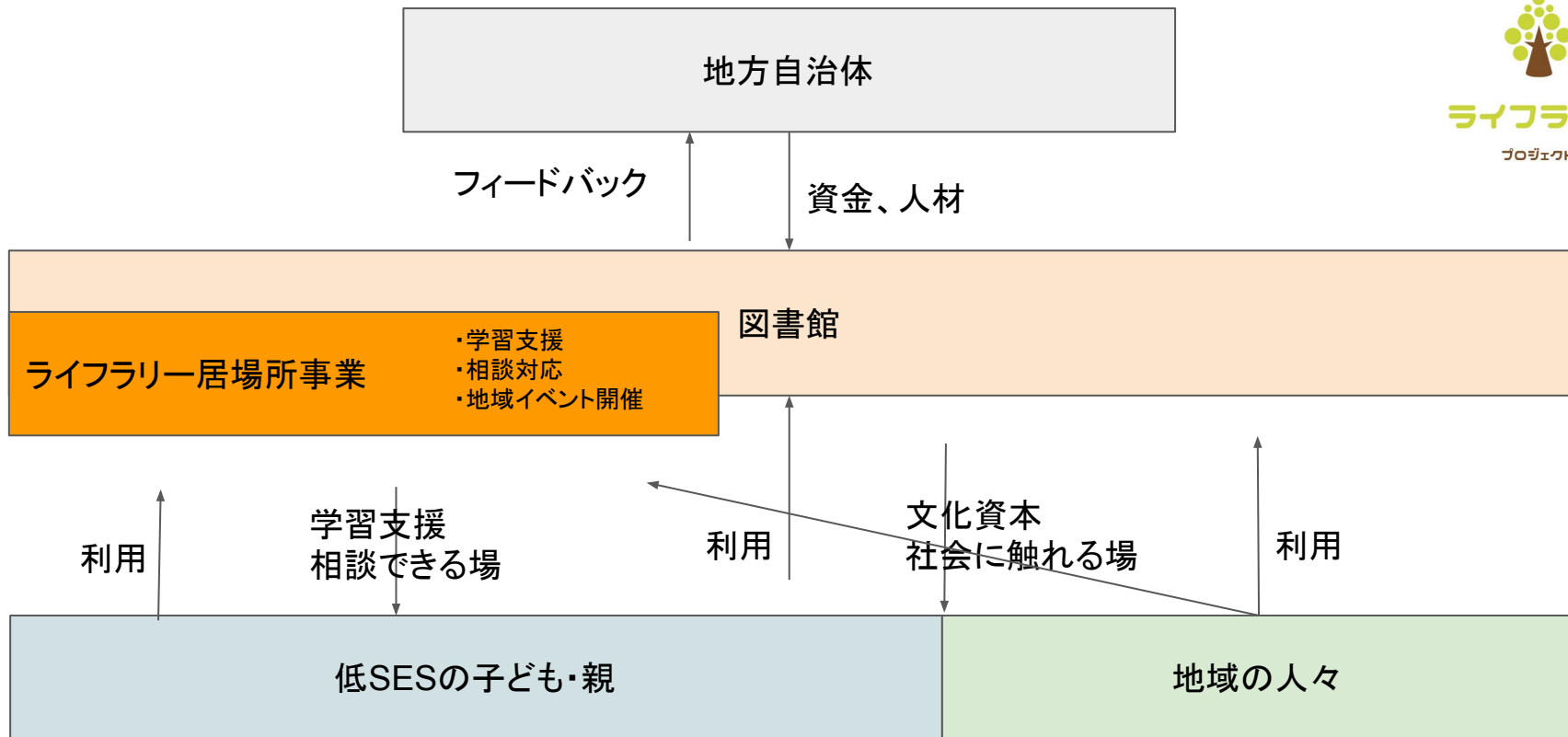
子ども

保護者

高齢者



関係図



政策案② すくさぽ



親子すくすくサポート



今までにない、一貫した、全家庭への支援サービス



支援に辿り着けない家庭へのアプローチ

乳幼児期・幼
少期の子ども

認知能力・非
認知能力

孤立の解消

学力格差是正へ

政策案②すくさぽ



- 対象 : 妊婦、0から12歳の子供と家族
利用料 : 無料
主な内容 : かかりつけ保健師による定期的な
カウンセリング・家庭訪問
子供の成長段階に応じ、変化



一つの家庭に継続して同じ保健師がつく

保健師とは？



保健師

講習

家庭とのカウンセリング能力
各機関との情報共有能力

地域住民の保健指導や健康管理
幅広い世代が健康に過ごせるようサポート

新たな
保健師

一般

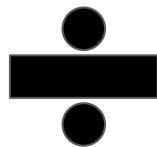
国家試験

必要な保健師の数



0から12歳の子供

1227万人
(平成30年)



保健師1人あたりの
担当子供人数

340人
(フィンランドのネウボラ
を参考に推定)

3,6万人
必要

計 5万1280人
自治体の常勤保健師数
3万3332人

具体的な内容1



平日 9時～22時まで
土日 9時～19時まで
オンラインでも対応

面談 30分～2時間

事前カンファレンス



アンケート、問診



個別の指導



フォローアップ、各機関への連携



情報の共有

家庭訪問 30分～2時間

事前カンファレンス



アンケート、家庭訪問



個別の指導



フォローアップ、各機関への連携



情報の共有

具体的な内容2



妊娠期



- ・妊娠登録・母子手帳配布時に登録
- ない場合、戸籍登録時
- ・約2週間に1度の面談
- ・妊娠初期に家庭訪問
- 妊娠、出産の悩み相談
- ・コネクト:産前支援、パパママ学級 etc

0から3歳



- ・各月に面談
- 育児の悩み相談
- 産後ケア、産後うつに対応
- ・1年に一度の家庭訪問
- ・コネクト:産後支援、保育園、産後支援ヘルパー、児童手当etc

3から12歳

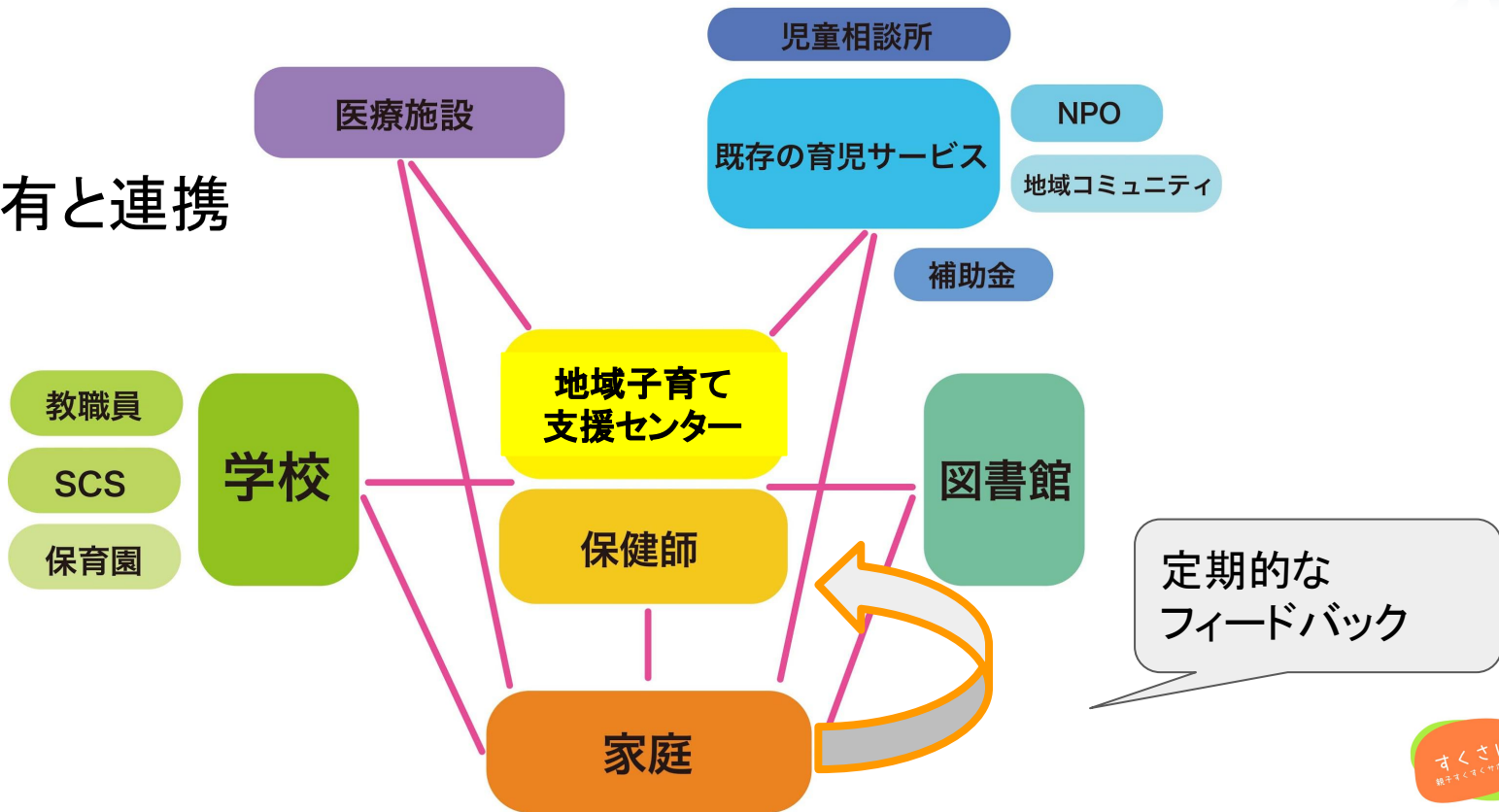


- ・隔月ごとに面談
- ・1年に一度の家庭訪問
- 育児の悩み相談
- ・コネクト:学習支援事業、子供食堂、児童手当 etc

全体の構図



情報の共有と連携



終わりに



ライフライリー

プロジェクト



参考文献



日本財団「子どもの貧困の社会的損失推計」<https://www.nippon-foundation.or.jp/media/archives/2018/news/articles/2015/img/71/1.pdf> (2020年9月4日閲覧)

日本財団「家庭の経済格差と子供の認知・非認知能力格差の関係分析」https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/01/wha_pro_end_07.pdf (2020年9月4日閲覧)

松岡亮二『教育格差—階層・地域・学歴』筑摩書房119,2019

桜井啓太「貧困と高等教育—生活保護世帯の大学進学に関する諸問題—」http://www.yu-cho-f.jp/wp-content/uploads/2018autumn_articles02.pdf (2020年9月4日閲覧)

『図書館利用者の情報行動の傾向及び図書館に関する意識調査—調査及び調査結果の概要—』2015年, 国立国会図書館
https://current.ndl.go.jp/files/presentation/2015capforum_presentation1.pdf (2020年9月4日閲覧)

元山彩織『乳児家庭全戸訪問事業における効果と課題』2018年<https://core.ac.uk/download/pdf/235647757.pdf> (2020年9月4日閲覧) 北方美穂『すべての子どもとその家族を見守るフィンランドの「ネウボラ」』child research net 2015年2月13日
<https://www.blog.crn.or.jp/lab/03/32.html> (2020年9月4日閲覧)

e-stat 政府統計の総合窓口

<https://www.google.com/url?q=https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid%3D0003177940&sa=D&ust=1599186071398000&usg=AFQjCNFKUg-fFEsxURPbBpXIb9f1gEPs2A> (2020年9月4日閲覧)

保健指導リソースガイド

https://www.google.com/url?q=http://tokuteikenshin-hokensidou.jp/info/012/&sa=D&ust=1599185970061000&usg=AFQjCNEjWASgI53R0dbPn2_qFhRzPvmtJQ (2020年9月4日閲覧)

『令和元年度 子育て世代包括支援センターの事例集』厚生労働省

<https://www.google.com/url?q=https://www.mhlw.go.jp/content/000608952.pdf&sa=D&ust=1599186177194000&usg=AFQjCNE2a1ggBOSBTDeAMcvPXISOB0BxqA> (2020年9月4日閲覧)